

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月30日】

団体名 NPO法人まめの会

## 1. プロジェクト名

介護者支援 介護者と要介護者の癒しプロジェクト「伝統文化を楽しむ」

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

東大和市では高齢化が進み 2008年1月には高齢化率が19.7%で、要介護者・要支援者は2,221人おり介護保険導入により介護サービスを利用しながら在宅生活を送っている要介護者の方々が増えています。

一方介護サービス利用しながらも、介護者は依然として家族であり、人によっては孤独感を覚えながら過ごし、ストレスもたまりやすい状況になっていると思います。

今回の企画は、介護者への支援が遅れている事を踏まえて、当会の新たな活動として介護者支援を目的に行いました。介護者が外出し文化に触れることで、ひと時でも介護のことを忘れて社会参加への足がかりにして欲しいというのが、主たる目的です。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

えんどうまめ活動 10周年記念行事の一環として介護者支援を行いました。これまで行事を行う際は経費の問題もありボランティアに協力して実施してはいましたが、今回は10周年の節目なので、初めてプロの方に出演していただきました。

介護者という同じ立場の方々、及び遠くまで外出がしにくい高齢者の方々、デイサービスえんどうまめ利用者等に日本の伝統文化にふれていただきました。

貴会の市民活動助成はI部の企画のみに活用させていただきました。

I部 広く市民に呼びかけて行う助成申請事業

介護者支援 介護者と要介護者の癒しプロジェクト「伝統文化を楽しむ」

琴 民謡 落語 日本舞踊 大正琴

II部 デイサービスえんどうまめの利用者と家族で行う内輪の企画。

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

4月からまめの会に実行委員会を組織し12回以上の会議を行いました。多くの市民に会場していただくために、3ヶ月前から関係者にお知らせをして準備に入りました。広報活動としてはチラシ5,000枚を会員が配布し、社会福祉協議会の後援も得ることができました。また自治会、老人会、民生委員に挨拶に伺いプロジェクトの理解を得ることができました。その他に新聞集配所の好意により、無償にて市内の朝日新聞購読者にチラシを折り込んでいただくこともできました。

その結果、計画を上回る人数の240名の来場者がありました。またボランティア、賛助会員の方にもお手伝いをしていただき、地域福祉の拠点としての役割を果たすことができました。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

会員総出で行事に関わり、無事終了することができました。

当日は240名の来場者のうち、アンケート回答者は61名でした。そのうち介護経験者は29名で現在介護されている方は12名でした。また、情報交換や悩みなどを話し合う機会については、24名の方が、必要性を感じていました。この結果を受けて、まめの会の次の活動としては、介護者支援の活動だと考えています。

今後は来年3月くらいに記念講演会を行います。それを機会に介護者が家族会を結成するような動きが出るような、講演会にしていきたいと考えております。

この企画は貴会からの補助金交付があったからできた行事です。本当に、ありがとうございました。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし

